日本分子生物学会編 —学会創立 30 周年記念出版-

分子生物学会は 2008 年に創立 30 周年を迎えましたが, これを記念し,

1.その歴史を留め(分子生物学に魅せられた人々),

2. 分子生物学の現在と将来を概観・展望し(21世紀の分子生物学),

3. 次なる世代にその魅力を伝える(なぜなぜ生物学)

ことを目的に,以下の3部作の出版を企画いたしました. (出版社 東京化学同人に直接注文で,会員特別割引)

<会員特典> 日本分子生物学会会員が購入する場合,下記の特価となります(送料・税込). ただし,海外への送品は実費請求となります.会員特典による頒布は東京化学同人への直接 申し込みに限ります.書店・大学生協等では扱いません.東京化学同人のホームページ上に申 込用紙がございますので,申込用紙をご利用の上,直接東京化学同人へお申込下さい.



A5 判 横組 2 色刷 約 300ページ 定価 3360 円 → <mark>特価 2850 円</mark>

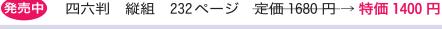
各分野の第一線で活躍する専門家が,最新の論文情報や知見も含めて易しく 簡潔に分子生物学を概説.コラムを豊富に挿入し,鍵となった歴史的な発見 や実験などにもふれます.若い読者に"これなら自分にもできる,自分でも やってみたい"と思わせる一冊. MBSJ

<生命の分子基盤> 細胞の構造と機能 (大隅良典) / タンパク質, 酵素 (永田和宏) / 代謝調節と代 謝病 (門脇 孝) / 遺伝子とゲノム (小原雄治) / RNAバイオロジー (塩見春彦)

<生命の維持と継承> 代謝調節と細胞間情報伝達の分子機序 (加藤茂明) / 細胞分裂 (山本正幸) / がん (山本 雅) / 胚発生と細胞分化 (近藤寿人) / 再生 (山中伸弥) / 老化 (石川冬木)

<生命のコントロール> 脳と神経(岡野栄之)/概日時計(近藤孝男)/植物科学の挑戦(島本 功)/ 感染症と宿主免疫(小安重夫)/ゲノム創薬科学(辻本豪三)





創立 30 周年を期に、分子生物学が今日に至った道筋を、記憶の奥にしまいこまれ てしまう前に記録することは重要と考え、日本の分子生物学の小史を書き留める ことにしました.本書は、分子生物学進歩の臨場感を味わっていただけるよう に、我が国において分子生物学・分子生物学会の創立・発展に貢献した**下記 14 名**の 方々に、現在第一線で活躍中の研究者がインタビューをし、まとめたものです.

富澤純一/岡田吉美/村松正實/志村令郎/吉川 寬/松原謙一/小川智子 堀田凱樹/柳田充弘/竹市雅俊/谷口維紹/岡田清孝/田中啓二/長田重一

なぜなぜ生物学

発売中

新書判 縦組 202ページ 定価 1470 円 → <mark>特価 1250 円</mark>

中学生・高校生とその家族,あるいは生物を専攻しなかった社会人の方々がふと思う「いのち」にかかわる「なぜ?」について,分子生物学の最先端で活躍している研 究者が対話形式でやさしく答えます.「いのち」の不思議を解く面白さを一人でも多 くの人に知ってもらい,次の時代の分子生物学を担う若者の参入を期待します.

<日 次> 遺伝子とパソコンソフトはどこが違うの?(五十嵐和彦)/なぜ肥満と痩せになるの?(島 野 仁)/なぜ親子は似るの?(正井久雄)/なぜ癌になるの?(花岡文雄)/どうして心臓は左にある の?(松崎文雄)/雄と雌ってなにが違うの?(諸橋憲一郎)/どうして毎年のようにインフルエンザに 櫂るの?(永田恭介)/なぜ地球環境にいいことをグリーンというの?(篠崎一雄)/ケガをしてもちゃ んとなおるよね!(阿形清和)/クジラはどこから来たの?(岡田典弘)/組換え食品は安全なの?(渡辺 雄一郎)/細胞の中って見えるの?(永井健治)/薬はどうやって創るの?(吉田 稔)

〒112-0011 東京都文京区千石3-36-7 http://www.tkd-pbl.com

東京化学同人

Tel 03-3946-5311/Fax 03-3946-5317 info@tkd-pbl.com